

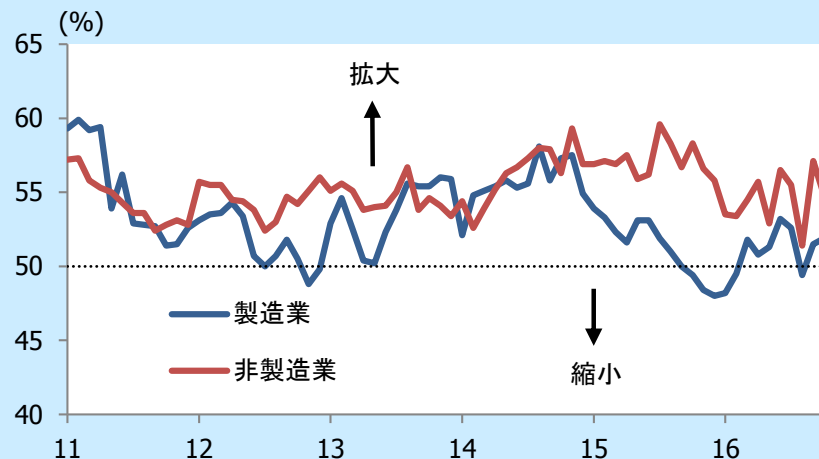
米国：ISM景況指数（2016年10月）

— 製造業でも企業活動に持ち直しの兆し —

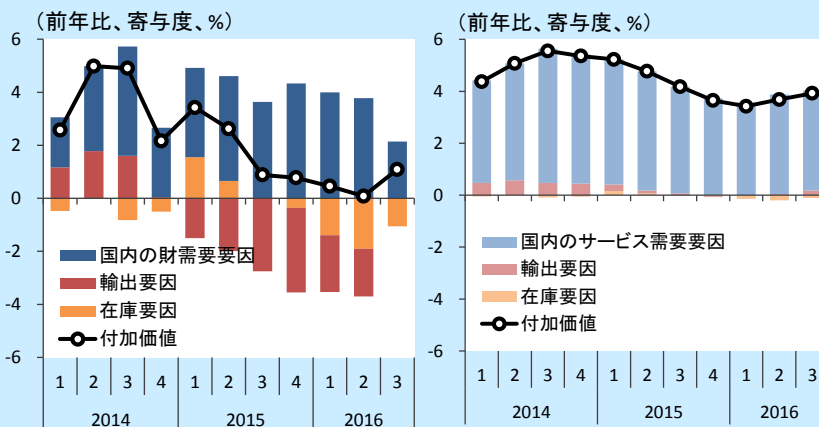
MRI Daily Economic Points

November 7, 2016

図表1 総合指数



図表2 製造業の付加価値 図表3 サービス業の付加価値



注: 名目ベース。GDP統計と産業連関表を基に三菱総合研究所が試算。
資料: 米供給管理協会、米商務省

評価ポイント

今回の結果

- 10月のISM製造業景況指数(総合、11/1日公表)は、51.9と前月(51.5)から小幅上昇。2ヶ月連続で拡大・縮小の分岐点である50を上回った。
- 項目別にみると、新規受注(52.1)はやや低下したものの、生産(54.6)が上昇。ドル高進行の一服による輸出の持ち直しが製造業の景況感を下支えている。雇用(52.9)もこれまで低い水準が続いていた反動もあって3ヶ月ぶりに50を上回った。業種別でも、50を上回って活動が拡大した業種は18業種のうち10業種と前月(7業種)から増加した。
- 10月のISM非製造業景況指数(総合、11/3日公表)は、54.8と依然として高水準ながら、前月(57.1)からは低下した。
- 項目別にみると、すべての項目が低下した。前月大幅に上昇したビジネス活動(57.7)、新規受注(57.7)、雇用(53.1)が低下。特に雇用は2ヶ月前の水準付近まで低下した。一方、業種別では、50を上回った業種は13業種と幅広い業種で拡大が続いている。

基調判断と今後の流れ

- 製造業は、ドル高進行の一服を背景に、緩やかながらも景況感が持ち直しつつある。非製造業は、内需の堅調さを背景に底堅く推移している。
- 付加価値を見ても、製造業では、①ドル高の輸出押し下げ圧力の一巡や、②在庫調整圧力の緩和などを背景に、企業活動が持ち直しつつある(図表2)。非製造業では、底堅い内需を背景に、サービスの付加価値が堅調に拡大している(図表3)。
- 先行きも、堅調な内需に支えられ、非製造業を中心に企業活動の拡大基調は維持すると予想する。
- 今後の注目点は、新大統領の政策運営が挙げられる。また、金融市場では12月の利上げがほぼ織り込まれているものの、金融市場の反応によっては、企業活動が下押しされる可能性も考えられる。